

第5回未来教室 渋谷区立幡代小学校

- 1、学校名 渋谷区立幡代小学校
校長 林 嘉瑞子 先生 副校長 槇 先生
- 2、住 所 渋谷区初台1-32-12 TEL 03(3370)2582
最寄駅 京王新線・都営地下鉄新宿線 初台 徒歩5分
- 3、開催日時 平成24年1月21日(土) 2時間目(9時45分~)
- 4、授業時間 総合的な学習の時間
- 5、実施学年
・6学年合同授業 (3クラス-86名) 一体育館
※保護者参観日のため、保護者も参加
- 6、授業内容の詳細
・「3Dって?」
- 7、ご協力企業
株式会社 NHK メディアテクノロジー
・放送技術本部 営業推進部 副部長 村山 至 様
・放送技術本部 営業推進部 チーフマネージャー 柴田 智英様
・ 同 チーフマネージャー 岩瀬 照雄様

当日の様子



6年生から頂いた感想文

渋谷区立幡代小学校未来教室参観記

今日のテーマは「3Dって?」。講師陣は、NHKメディアテクノロジー社の3名の方方で、午前9時40分からの授業のために7時30分から機材搬入と設営に着手された由です。

講師の話は、「顔の前に指を立てて片目ずつ開けて見てください」と、左右の目の見え方（視野）に違いがあることへの気づきから本題に入りました。全員にメガネが配られ、スクリーンに海中が映し出されました。色とりどりの魚が平面から抜け出します。未知の三次元映像との遭遇に、初体験の私も驚きましたが、児童たちは眼前に迫る小魚たちを捕らえようと手を上げます。「白黒からカラーへ。アナログからハイビジョン、さらにスーパーハイビジョンへ。映像の技術はこれからも進化していくと思います。皆さんが大人になった時、どのような映像が見られるのか、楽しみです」と講師。

おやし日本副理事長 納富善朗
授業では、テレビ番組がどのように制作されているのかについての話もあり、毎日観ている番組には出演者しか写らないが、ディレクターのほか、カメラマン、タイムキーパー、音響などなど、大勢の人がかかっていることや、それぞれがテレビ放送に欠かせない職業であることが紹介されました。

「メガネをかけると浮き出て見えるのはどうしてですか」という深みのある疑問をもった児童があり、短い授業時間でしたが、知的な刺激を受けていることが分かりました。「映像技術の今」という切り口から未来社会の姿を垣間見、将来の自分にも思いを馳せる時間になったようです。授業は、「今日は僕たちのために朝早くから準備してもらって、ありがとうございました」の謝辞で閉じました。児童の観察力と素直な心が瞬時に伝わりました。

渋谷区立幡代小学校「未来教室」授業参観記

おやし日本「未来教室」担当 高島信義

渋谷区内にある会社、また、NHKという日頃、親しまれている会社だけに、子どもたちも近親感を持って授業者を迎えました。授業内容も「3D?」とあって興味津々と授業の始まりを待っていました。

本日の授業構成は、「会社の仕事内容」、「3Dとは」、「3Dの映像を見てみよう」、「映像機器の変遷とこれから」、「仕事としての映像作り」の5つで構成されており、それぞれ子どもたちの興味、関心を促し、50分近い授業が途切れることなく、あっという間に余韻を残しながら終了しました。

今回の授業は、3Dのシクミを人間の視覚の持つ原理を基本に、それを利用した映像作りの説明、そして、実際の映像として視聴体験。その中に、さりげなくここまで関わってきた人々の工夫、開発、努力を取り入れ、最後に、この仕事の魅力、面白さを自分の体験としての語りで結ばれました。

今回の授業は、他方で意図していた、内容の面白さと共に「働くこと」の意味や意義、職業観や将来像など「キャリア教育」の一環としての授業が十分生かされた授業になっていました。

さらに、今回の授業のように、最先端の技術を用いた授業は「それに携わる人にしかできない」内容として、先生たちはもちろん、参観されていた保護者の方たちにもこれからの授業あり方を考えるきっかけの提案の場としても意義のあるものだったと思っています。

最後に、NHKメディアテクノロジーの皆様、また、この機会を与えていただいた幡代小学校の林校長先生、榎副校長先生をはじめ、6年担任の先生、そして、教育委員会事務局、指導室の皆様のご支援に感謝申し上げます。